

ブルガリアの民族舞踊を小学校で披露

28日、区立松庵小学校（松庵 2-23-24・電話 3 3 3 3-7 9 2 8）では、ブルガリアの民族舞踊団による伝統的な踊りの披露が行われました。舞踊団は、27日にJR荻窪駅近くの杉並公会堂で、東京公演を終えたばかりですが、その疲れを見せることなく、子どもたちの前で華麗なステップを披露、さらに子どもたちの手を取っての踊りの講習会も行われ、笑顔に包まれた和やかな交流の機会となりました。

松庵小学校を訪れたのは、1947年に設立され、ブルガリアでは最も長い伝統を誇るカザンラック民族舞踊団です。舞踊団の名前は、ブルガリアの中央部の観光都市カザンラック市に由来します。そのカザンラック市を拠点に世界各国で、2000回以上の公演を行っていて、東京公演も2001年から行われています。

今回の学校での民族舞踊の披露は、日本・ブルガリア青少年文化交流協会の橋渡しで実現しました。協会は、両国の青少年の交流を通じて、相互理解を促進する活動を行っていて、杉並公会堂で東京公演を行った2013年に次いで杉並区内の小学校で、このような交流会が行われるのは2回目で、同校の全児童やPTAなど、およそ500人が楽しみました。



午前9時30分過ぎ、23人の舞踊団のメンバーが体育館に登場しました。まずは、小学校1・2・4年生を対象にした鑑賞と舞踊体験です。午前10時30分からは、3・5・6年生の子どもたちが対象です。団員は、古代トラキア人の文化の流れを汲む伝統的なデザインの刺繍が施された独特の民族衣装に身を包んでいます。

ブルガリア大使館員による挨拶の後には、いよいよ伝統の踊りの披露です。笛や太鼓、弦楽器など民族楽器にあわせて、素早くリズムを刻む伝統舞踊は、間近で見るととても迫力があり、子どもたちを釘付けにしました。伝統の踊りの披露の後には、団員による踊りの講習です。子どもたち全員が、体育館いっぱい輪を作って、団員からステップを習いました。習った踊りは、みんなで手をつないでステップを踏むもので、団員を手本にみんなの踊りが揃いだと笑顔もほころんで、和やかな交流の機会となりました。

【報道機関 問い合わせ先】

総務部広報課

電話 03-3312-2111